

(平成 30 年 6 月 10 日集計)

I. 概 況

内閣府が 5 月 23 日に公表した月例経済報告で、「景気は、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動に留意する必要がある。」としている。

一方県内中小企業では、前年同月比で DI 値で景況は回復したが、前月比ではやや悪化した。製造業、非製造業ともに原材料・原油価格の高騰に伴い物流コストの上昇に加え、慢性的な人手不足や賃上げなど、県内中小企業の経営環境は、依然として厳しい状況が続いている。

II. 業種別状況等

<製造業>

① 繊維・同製品

4 月の生産数量は、対前年度比で増加となり、「下げ止まり」感があったが、5 月は再び 10%の減少となった。6～8 月期は閑散期となり生産数量が減少する。受注に苦慮している状況である。

② 木材・木製品

材料費の値上げが次々と発生している。運賃・送料が特に高く付いている。

③ 鉄鋼・金属

前年度 5 月に比べ全体的に売上高は増加しているが、これらは前年度 5 月～9 月にかけて落ち込みがあった為で少し戻した感があるといった程度。5 月についても慢性的な人手不足は続いている。

④ 一般機器

全体的に少しずつ持ち直してきている様子が伺える。受注はあるものの受注単価はギリギリのラインなのか微増の利益確保で推移しているものと思われる。また、設備投資をしたくても手が回らない状況。人材確保も厳しい状況が続いています。

⑤ 輸送機器

売上高は、トータルでは若干増えているものの、大口取引部門の減収で、6 月以降改善が見込めるのか心配している。親会社の見通しでは全体の売上げが増加する計画があるので期待する。

⑥ その他

極端に減少していた受注が徐々に増加に転じた事業所もあるようです。しかし前年度対比では、まだまだ減少割合が大きく回復基調を実感する状況まで到達したとは言えません。

＜非製造業＞

⑦ 卸売業

ネット販売経路やDIY店舗に販売網を持っている事業所に比べ、従来からの得意先の廃業等で販路が減少し多くの組合員の経営環境は良くない。組合員間での差が顕著になりつつある。

⑧ 小売業

売上は、イベントの効果もあり前月と比較すると微増した。飲食店では、人手不足により営業時間の短縮を実施する店舗があり、効率的にはアップするが、売上の減少を招いている。

⑨ 商店街

5月の売上げは前月と余り変わらないですが前年に比べると減少しています。高齢者人口が増加している現状難しい問題もある様です。

⑩ サービス業

政府が6月にまとめる成長戦略原案では、2030年までにレベル3相当の自動運転車を国内新車販売の3割以上にする目標を掲げた。

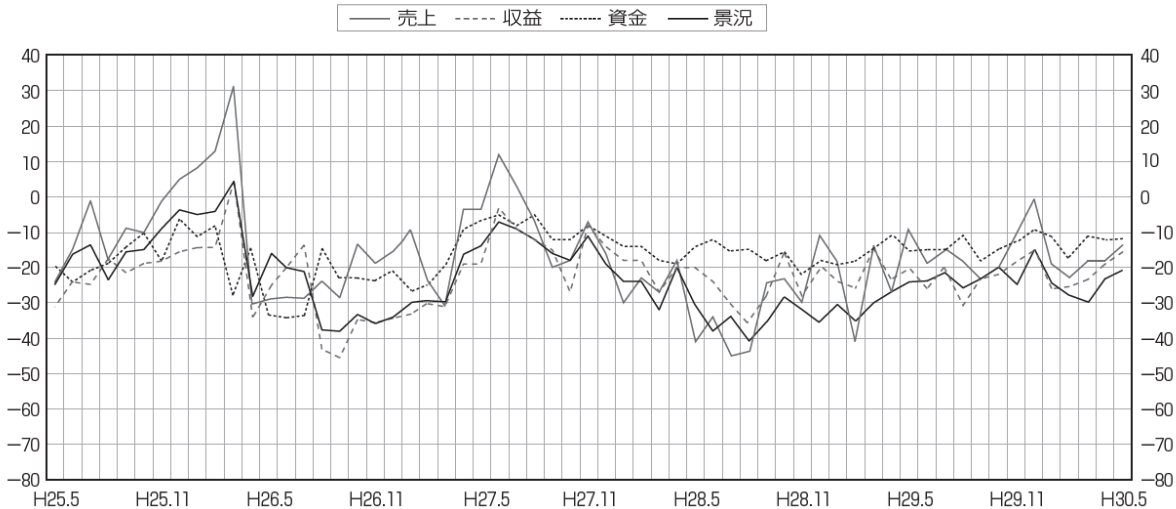
⑪ 運輸業

軽油価格が大幅に上昇した。前年との比較で17円/ℓも高くなっており、死活問題となっている。例年GW前後は、貨物量が増えるが、今年は押しなべて暇であった。貨物量の低下に軽油価格の高騰と運送業者にとって暗いニュースばかりである。

⑫ その他

4月の契約更改以降、また新規開設得意先の増加などにより、設備の操業は一時的に増加する。雇用に関しては、4月採用の人員が安定していく時期に入っている。

景気動向（前年同月比）の推移（D I 図）



項目 業種	景況	売上	収益	資金
製造業	 -16%	 -3%	 -5%	 -3%
非製造業	 -22%	 -24%	 -27%	 -22%
総合	 -19%	 -14%	 -16%	 -12%

製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
食料品				
繊維・同製品				
木材・木製品				
紙・紙加工品				
出版・印刷				
化学・ゴム				
窯業・土石製品				
鉄鋼・金属				
一般機器				
電気機器				
輸送用機器				
製造業その他				

非 製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
卸売業				
小売業				
商店街				
サービス業				
建設業				
運輸業				
その他				

【凡例】



快晴



晴れ



曇り



雨



大雨

基準(DI値)

30以上

10以上～30未満

-10以上～10未満

-30以上～-10未満

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：事業部 情報企画課

TEL：078-331-2045

【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月 20 日頃に公表しています。

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>